

# 若者支援の難しさと必要な支援とは？

2022年4月から2024年3月末の2年間、コミュニティワーク研究実践センターでは、孤立している若者、困難を抱えている若者が「一人暮らしを持続するために必要な能力」と「若者特有の支援の難しさ」を言語化するために検証会議を行うとともに、若者に住まいを提供し、一人暮らしを支援する事業を実施してきました。

本報告会では、検証会議や若者の一人暮らし体験事業の報告を行うとともに、若者支援の難しさや、若者支援の必要性について、有識者・当事者・支援者からみた視点で考えていきます。



赤い羽根  
福祉基金

2023年度 中央共同募金会  
「赤い羽根福祉基金」助成事業



定員 / 50名 (参加費無料)

2024年

日時

2月27日(火)

13:30 ~ 16:30

場所

市民活動プラザ星園 2階 大会議室

(札幌市中央区南8条西2丁目)

■原則、会場集合型とします。(ZOOMでの参加も可能です)

※ZOOM配信アドレスについては、開催3日前までに、オンライン参加希望者にお知らせします。

## プログラム

### 【第1部：基調講演】

## 若者支援の難しさと必要な支援とは？

講師：大谷大学社会学部

コミュニティデザイン学科 講師 岡部 茜氏



#### 岡部 茜氏 プロフィール

石川県生まれ。海の幸が好き。大学で社会福祉を学生と一緒に考えながら、若者支援や若者の住まいについて調査を進めている。著書に『若者支援とソーシャルワーク』（2019年、法律文化社）など。

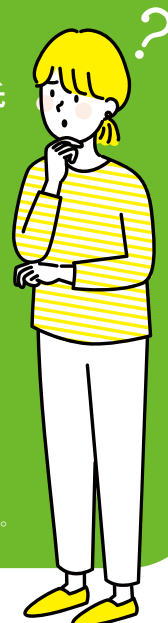
### 【第2部】 検証会議報告 報告者：検証会議 座長 山内 太郎氏

### 【第3部】

## 一人暮らし体験参加者と考える、「今」若者にとって必要な支援とは？

一人暮らし体験参加者（20代・女性）と、「今」若者にとって必要な支援について考えていきます。

※本シンポジウムは、2023年度中央共同募金会「赤い羽根福祉基金」の助成を受け実施しています。



主催：NPO 法人コミュニティワーク研究実践センター

